

Q001

資格区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。乙種第4類の主な対象は「第4類 引火性液体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。乙種第4類は第4類の引火性液体を対象とします。
要点：資格区分を確認

Q002

資格区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。甲種危険物取扱者が扱える範囲は「免状に記載された類の危険物」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。甲種はすべての類の危険物を扱えます。
要点：資格区分を確認

Q003

資格区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。乙種危険物取扱者が扱える範囲は「免状に記載された類の危険物」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。乙種は免状に記載された類に限って取扱い・立会いができます。
要点：資格区分を確認

Q004

資格区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。丙種危険物取扱者の範囲は「すべての類の危険物」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。丙種は指定された第4類危険物の取扱いに限られ、立会いはできません。
要点：資格区分を確認

Q005

危険物分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第1類危険物の性質は「第1類 酸化性固体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第1類は酸化性固体です。
要点：危険物分類を確認

Q006

危険物分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第2類危険物の性質は「第1類 酸化性固体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。第2類は可燃性固体です。
要点：危険物分類を確認

Q007

危険物分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第3類危険物の性質は「第3類 自然発火性物質及び禁水性物質」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第3類は自然発火性物質及び禁水性物質です。
要点：危険物分類を確認

Q008

危険物分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第5類危険物の性質は「第4類 引火性液体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。第5類は自己反応性物質です。
要点：危険物分類を確認

Q009

危険物分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第6類危険物の性質は「第6類 酸化性液体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第6類は酸化性液体です。
要点：危険物分類を確認

Q010

危険物分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。消防法上の危険物の考え方は「消防法」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。危険物は、消防法別表第一の品名と性状に基づきます。
要点：危険物分類を確認

Q011

施設区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。危険物施設の基本区分は「製造所・貯蔵所・取扱所」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。危険物施設は製造所、貯蔵所、取扱所に大別されます。
要点：施設区分を確認

Q012

許可・検査 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。製造所等の設置で原則必要な手続は「完成検査」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。指定数量以上を扱う製造所等は、設置前に許可が必要です。
要点：許可・検査を確認

Q013

許可・検査 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。設置又は変更後、使用前に受ける検査は「完成検査」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。完成検査に合格してから使用するのが原則です。
要点：許可・検査を確認

Q014

許可・検査 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。製造所等の位置・構造・設備を変更するときの手続は「完成検査」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。変更工事の前に変更許可を受ける必要があります。
要点：許可・検査を確認

Q015

許可・検査 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。変更工事中に一部を使うための手続は「仮使用承認」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。変更工事中に使用する場合は仮使用承認が問題になります。
要点：許可・検査を確認

Q016

許可・検査 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。指定数量以上の危険物を一時的に貯蔵・取扱いする制度は「仮使用承認」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。仮貯蔵・仮取扱いは、承認を受けて短期間だけ行う制度です。
要点：許可・検査を確認

Q017

許可・検査 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。仮貯蔵・仮取扱いの期間は「10日以内」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。仮貯蔵・仮取扱いは10日以内が基本です。
要点：許可・検査を確認

Q018

許可・検査 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。仮貯蔵・仮取扱いの承認者は「市町村長等」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。仮貯蔵・仮取扱いは消防長又は消防署長の承認を受けます。
要点：許可・検査を確認

Q019

許可・権限 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。製造所等の設置許可を行う者は「市町村長等」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。設置許可は市町村長等が行います。
要点：許可・権限を確認

Q020

免状 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。危険物取扱者免状の交付者は「市町村長等」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。免状は都道府県知事が交付します。
要点：免状を確認

Q021

保安管理 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。危険物保安監督者に必要な実務経験は「6か月以上の実務経験」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。危険物保安監督者は、甲種又は該当乙種の免状と6か月以上の実務経験が基本です。

要点：保安管理を確認

Q022

保安管理 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。危険物保安監督者を選任・解任したときの手続は「完成検査」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。選任・解任したときは、市町村長等への届出が必要です。

要点：保安管理を確認

Q023

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。指定数量を定める法令上の位置づけは「政令で定められる」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。指定数量は危険物の規制に関する政令で定められます。

要点：指定数量を確認

Q024

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。指定数量の倍数の計算は「指定数量÷貯蔵又は取扱数量」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。倍数は、実際の数量をその危険物の指定数量で割って求めます。

要点：指定数量を確認

Q025

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。特殊引火物の指定数量は「50 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。特殊引火物の指定数量は50Lです。

要点：指定数量を確認

Q026

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第1石油類・非水溶性液体の指定数量は「50 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。第1石油類の非水溶性液体は200Lです。
要点：指定数量を確認

Q027

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第1石油類・水溶性液体の指定数量は「400 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第1石油類の水溶性液体は400Lです。
要点：指定数量を確認

Q028

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。アルコール類の指定数量は「50 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。アルコール類の指定数量は400Lです。
要点：指定数量を確認

Q029

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第2石油類・非水溶性液体の指定数量は「1,000 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第2石油類の非水溶性液体は1,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q030

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第2石油類・水溶性液体の指定数量は「400 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。第2石油類の水溶性液体は2,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q031

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第3石油類・非水溶性液体の指定数量は「2,000 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第3石油類の非水溶性液体は2,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q032

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第3石油類・水溶性液体の指定数量は「1,000 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。第3石油類の水溶性液体は4,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q033

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第4石油類の指定数量は「6,000 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第4石油類の指定数量は6,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q034

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。動植物油類の指定数量は「2,000 L」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。動植物油類の指定数量は10,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q035

標識・掲示 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第4類危険物の貯蔵・取扱場所等重要な注意表示は「火気厳禁」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第4類は引火性液体なので、火気厳禁の管理が重要です。
要点：標識・掲示を確認

Q036

運搬・移送 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。容器に入れた危険物を車両などで運ぶ行為は「移送」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。容器で運ぶ場合は運搬、移動タンク等で運ぶ場合は移送として整理されます。

要点：運搬・移送を確認

Q037

運搬・移送 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。移動タンク貯蔵所で危険物を運ぶ行為は「移送」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。タンクローリーのような移動タンク貯蔵所で運ぶ場合は移送です。

要点：運搬・移送を確認

Q038

運搬・移送 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。移動タンク貯蔵所に乗車して移送するときの義務は「完成検査」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。移送時に乗車する危険物取扱者は免状を携帯します。

要点：運搬・移送を確認

Q039

少量危険物 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。少量危険物に該当する数量の目安は「指定数量の5分の1以上、指定数量未満」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。少量危険物は、一般に指定数量の5分の1以上で指定数量未満の範囲です。

要点：少量危険物を確認

Q040

施設区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。ガソリンスタンドが該当する代表的な取扱所は「販売取扱所」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。ガソリンスタンドは給油取扱所に該当します。

要点：施設区分を確認

Q041

施設区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。危険物を販売のために取り扱う施設は「販売取扱所」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。販売のために扱う取扱所は販売取扱所です。
要点：施設区分を確認

Q042

施設区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。配管などにより危険物を移送する取扱所は「給油取扱所」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。配管などによる移送は移送取扱所として整理されます。
要点：施設区分を確認

Q043

施設区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。屋内で危険物を貯蔵する施設は「屋内貯蔵所」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。屋内で貯蔵する施設は屋内貯蔵所です。
要点：施設区分を確認

Q044

施設区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。地下タンクにより危険物を貯蔵する施設は「屋外タンク貯蔵所」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。地下タンクを用いる貯蔵所は地下タンク貯蔵所です。
要点：施設区分を確認

Q045

施設区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。屋外タンクにより危険物を貯蔵する施設は「屋外タンク貯蔵所」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。屋外タンクで貯蔵する施設は屋外タンク貯蔵所です。
要点：施設区分を確認

Q046

施設区分 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。車両に固定されたタンクで危険物を貯蔵・移送する施設は「地下タンク貯蔵所」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。タンクローリーは移動タンク貯蔵所に該当します。
要点：施設区分を確認

Q047

保安距離・空地 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。周囲の建築物などとの安全上の距離は「保安距離」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。保安距離は、周囲の保護対象との距離を確保する考え方です。
要点：保安距離・空地を確認

Q048

保安距離・空地 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。施設の周囲に確保する空地は「保安距離」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。保有空地は、消火活動や延焼防止のために施設周囲に確保します。
要点：保安距離・空地を確認

Q049

保安管理 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。一定の製造所等で定める自主保安のルールは「予防規程」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。一定の施設では予防規程を定め、認可を受けて保安管理を行います。
要点：保安管理を確認

Q050

取扱い | ○×

【法令】次の記述は正しいか。指定数量以上を貯蔵・取扱いできる場所は「どこでもよい」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。指定数量以上は、原則として製造所等以外で貯蔵・取扱いできません。
要点：取扱いを確認

Q051

取扱 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。無資格者が危険物を取り扱う場合の基本は「甲種又は該当種の立会いが必要」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。無資格者の取扱いは、有資格者の立会いが基本です。
要点：取扱いを確認

Q052

免状 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。免状写真の定期的な書換えは「毎年」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。危険物取扱者免状の写真は、原則10年以内ごとに書換えが必要です。
要点：免状を確認

Q053

免状 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。免状を亡失・汚損した場合の手続は「再交付申請」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。免状をなくしたり汚したりしたときは再交付の手続です。
要点：免状を確認

Q054

免状 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。氏名など免状記載事項に変更があった場合の手続は「再交付申請」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。免状の記載事項が変わった場合は書換えが必要です。
要点：免状を確認

Q055

保安講習 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。危険物取扱作業に従事する免状保有者が受ける講習は「保安講習」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。取扱作業に従事する免状保有者は、定められた時期に保安講習を受けます。
要点：保安講習を確認

Q056

運搬・移送 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。指定数量未満の危険物を容器で運ぶ場合は「一切の基準がない」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。運搬基準は指定数量未満でも問題になります。

要点：運搬・移送を確認

Q057

保安管理 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。火災予防・消火活動のため施設に備えるものは「消火設備」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。危険物施設には、区分に応じた消火設備が求められます。

要点：保安管理を確認

Q058

標識・掲示 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。製造所等で掲示する情報の例は「従業員の趣味」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。掲示板には危険物の類・品名・最大数量・倍数などを示します。

要点：標識・掲示を確認

Q059

分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第4類の危険物が該当する性状は「第4類引火性液体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第4類は引火性液体です。

要点：分類を確認

Q060

分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第4類危険物の品名区分に含まれるものは「第1類 酸化性固体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。アルコール類は第4類危険物の品名区分です。

要点：分類を確認

Q061

分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第4類危険物の品名区分に含まれるものは「特殊引火物」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。特殊引火物は第4類の品名区分です。

要点：分類を確認

Q062

分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第4類危険物の品名区分に含まれるものは「第2類 可燃性固体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。動植物油類も第4類の品名区分です。

要点：分類を確認

Q063

分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第1石油類にある水溶性区分は「第1石油類 水溶性液体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第1石油類は水溶性・非水溶性で指定数量が異なります。

要点：分類を確認

Q064

分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第2石油類にある非水溶性区分は「第1石油類 水溶性液体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。第2石油類にも水溶性・非水溶性の区分があります。

要点：分類を確認

Q065

分類 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。第3石油類にある水溶性区分は「第3石油類 水溶性液体」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第3石油類の水溶性液体の指定数量は4,000Lです。

要点：分類を確認

Q066

取扱い | ○×

【法令】次の記述は正しいか。指定数量以上の危険物を貯蔵所等以外で扱う場合の原則は「常に自由に扱える」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。指定数量以上は、許可を受けた製造所等で扱うのが原則です。
要点：取扱いを確認

Q067

取扱い | ○×

【法令】次の記述は正しいか。危険物取扱者以外が危険物を扱える条件は「有資格者の立会いがあること」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。無資格者の取扱いは、該当する有資格者の立会いが必要です。
要点：取扱いを確認

Q068

保安管理 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。危険物保安監督者の主な役割は「試験問題の作成」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。危険物保安監督者は、危険物の取扱作業を保安上監督します。
要点：保安管理を確認

Q069

標識・掲示 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。危険物施設で火気を避ける理由は「可燃性蒸気への引火を防ぐため」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：○ 正しい

正しい記述です。第4類は蒸気が火源で引火する危険があるため、火気管理が重要です。
要点：標識・掲示を確認

Q070

指定数量 | ○×

【法令】次の記述は正しいか。水溶性と非水溶性で指定数量が異なる代表区分は「第4石油類」である。

- A. ○ 正しい
B. × 誤り

答え・解説

正答：× 誤り

誤りです。第1石油類は水溶性・非水溶性で指定数量が変わります。
要点：指定数量を確認

Q071

資格区分 | 2択

【法令】次のうち、乙種第4類の主な対象として正しいものはどちらか。

- A. 第4類 引火性液体
- B. 第1類 酸化性固体

答え・解説

正答：第4類 引火性液体

正解は「第4類 引火性液体」です。乙種第4類は第4類の引火性液体を対象とします。

要点：資格区分を確認

Q072

資格区分 | 2択

【法令】次のうち、甲種危険物取扱者が扱える範囲として正しいものはどちらか。

- A. すべての類の危険物
- B. 免状に記載された類の危険物

答え・解説

正答：すべての類の危険物

正解は「すべての類の危険物」です。甲種はすべての類の危険物を扱えます。

要点：資格区分を確認

Q073

資格区分 | 2択

【法令】次のうち、乙種危険物取扱者が扱える範囲として正しいものはどちらか。

- A. すべての類の危険物
- B. 免状に記載された類の危険物

答え・解説

正答：免状に記載された類の危険物

正解は「免状に記載された類の危険物」です。乙種は免状に記載された類に限って取扱い・立会いができます。

要点：資格区分を確認

Q074

資格区分 | 2択

【法令】次のうち、丙種危険物取扱者の範囲として正しいものはどちらか。

- A. 指定された第4類危険物に限る
- B. すべての類の危険物

答え・解説

正答：指定された第4類危険物に限る

正解は「指定された第4類危険物に限る」です。丙種は指定された第4類危険物の取扱いに限られ、立会いはできません。

要点：資格区分を確認

Q075

危険物分類 | 2択

【法令】次のうち、第1類危険物の性質として正しいものはどちらか。

- A. 第2類 可燃性固体
- B. 第1類 酸化性固体

答え・解説

正答：第1類 酸化性固体

正解は「第1類 酸化性固体」です。第1類は酸化性固体です。

要点：危険物分類を確認

Q076

危険物分類 | 2択

【法令】次のうち、第2類危険物の性質として正しいものはどちらか。

- A. 第2類 可燃性固体
- B. 第1類 酸化性固体

答え・解説

正答：第2類 可燃性固体

正解は「第2類 可燃性固体」です。第2類は可燃性固体です。

要点：危険物分類を確認

Q077

危険物分類 | 2択

【法令】次のうち、第3類危険物の性質として正しいものはどちらか。

- A. 第3類 自然発火性物質及び禁水性物質
- B. 第4類 引火性液体

答え・解説

正答：第3類 自然発火性物質及び禁水性物質

正解は「第3類 自然発火性物質及び禁水性物質」です。第3類は自然発火性物質及び禁水性物質です。

要点：危険物分類を確認

Q078

危険物分類 | 2択

【法令】次のうち、第5類危険物の性質として正しいものはどちらか。

- A. 第4類 引火性液体
- B. 第5類 自己反応性物質

答え・解説

正答：第5類 自己反応性物質

正解は「第5類 自己反応性物質」です。第5類は自己反応性物質です。

要点：危険物分類を確認

Q079

危険物分類 | 2択

【法令】次のうち、第6類危険物の性質として正しいものはどちらか。

- A. 第6類 酸化性液体
- B. 第1類 酸化性固体

答え・解説

正答：第6類 酸化性液体

正解は「第6類 酸化性液体」です。第6類は酸化性液体です。

要点：危険物分類を確認

Q080

危険物分類 | 2択

【法令】次のうち、消防法上の危険物の考え方として正しいものはどちらか。

- A. 消防法別表第一の品名に該当し、一定の性状を有する物品
- B. 消防法

答え・解説

正答：消防法別表第一の品名に該当し、一定の性状を有する物品

正解は「消防法別表第一の品名に該当し、一定の性状を有する物品」です。危険物は、消防法別表第一の品名と性状に基づきます。

要点：危険物分類を確認

Q081

施設区分 | 2択

【法令】 次のうち、危険物施設の基本区分として正しいものはどちらか。

- A. 製造所だけ
- B. 製造所・貯蔵所・取扱所

答え・解説

正答：製造所・貯蔵所・取扱所

正解は「製造所・貯蔵所・取扱所」です。危険物施設は製造所、貯蔵所、取扱所に大別されます。

要点：施設区分を確認

Q082

許可・検査 | 2択

【法令】 次のうち、製造所等の設置で原則必要な手続として正しいものはどちらか。

- A. 完成検査
- B. 設置許可

答え・解説

正答：設置許可

正解は「設置許可」です。指定数量以上を扱う製造所等は、設置前に許可が必要です。

要点：許可・検査を確認

Q083

許可・検査 | 2択

【法令】 次のうち、設置又は変更後、使用前に受ける検査として正しいものはどちらか。

- A. 変更許可
- B. 完成検査

答え・解説

正答：完成検査

正解は「完成検査」です。完成検査に合格してから使用するのが原則です。

要点：許可・検査を確認

Q084

許可・検査 | 2択

【法令】 次のうち、製造所等の位置・構造・設備を変更するときの手続として正しいものはどちらか。

- A. 変更許可
- B. 完成検査

答え・解説

正答：変更許可

正解は「変更許可」です。変更工事の前に変更許可を受ける必要があります。

要点：許可・検査を確認

Q085

許可・検査 | 2択

【法令】 次のうち、変更工事中に一部を使うための手続として正しいものはどちらか。

- A. 仮使用承認
- B. 完成検査

答え・解説

正答：仮使用承認

正解は「仮使用承認」です。変更工事中に使用する場合は仮使用承認が問題になります。

要点：許可・検査を確認

Q086

許可・検査 | 2択

【法令】 次のうち、指定数量以上の危険物を一時的に貯蔵・取扱いする制度として正しいものはどちらか。

- A. 仮使用承認
- B. 仮貯蔵・仮取扱い

答え・解説

正答：仮貯蔵・仮取扱い

正解は「仮貯蔵・仮取扱い」です。仮貯蔵・仮取扱いは、承認を受けて短期間だけ行う制度です。

要点：許可・検査を確認

Q087

許可・検査 | 2択

【法令】 次のうち、仮貯蔵・仮取扱いの期間として正しいものはどちらか。

- A. 10日以内
- B. 30日以内

答え・解説

正答：10日以内

正解は「10日以内」です。仮貯蔵・仮取扱いは10日以内が基本です。

要点：許可・検査を確認

Q088

許可・検査 | 2択

【法令】 次のうち、仮貯蔵・仮取扱いの承認者として正しいものはどちらか。

- A. 市町村長等
- B. 消防長又は消防署長

答え・解説

正答：消防長又は消防署長

正解は「消防長又は消防署長」です。仮貯蔵・仮取扱いは消防長又は消防署長の承認を受けます。

要点：許可・検査を確認

Q089

許可・権限 | 2択

【法令】 次のうち、製造所等の設置許可を行う者として正しいものはどちらか。

- A. 消防長又は消防署長
- B. 市町村長等

答え・解説

正答：市町村長等

正解は「市町村長等」です。設置許可は市町村長等が行います。

要点：許可・権限を確認

Q090

免状 | 2択

【法令】 次のうち、危険物取扱者免状の交付者として正しいものはどちらか。

- A. 都道府県知事
- B. 市町村長等

答え・解説

正答：都道府県知事

正解は「都道府県知事」です。免状は都道府県知事が交付します。

要点：免状を確認

Q091

保安管理 | 2択

【法令】 次のうち、危険物保安監督者に必要な実務経験として正しいものはどちらか。

- A. 6か月以上の実務経験
- B. 実務経験は不要

答え・解説

正答：6か月以上の実務経験

正解は「6か月以上の実務経験」です。危険物保安監督者は、甲種又は該当乙種の免状と6か月以上の実務経験が基本です。

要点：保安管理を確認

Q092

保安管理 | 2択

【法令】 次のうち、危険物保安監督者を選任・解任したときの手続として正しいものはどちらか。

- A. 完成検査
- B. 市町村長等へ届け出る

答え・解説

正答：市町村長等へ届け出る

正解は「市町村長等へ届け出る」です。選任・解任したときは、市町村長等への届出が必要です。

要点：保安管理を確認

Q093

指定数量 | 2択

【法令】 次のうち、指定数量を定める法令上の位置づけとして正しいものはどちらか。

- A. 各事業所が自由に定める
- B. 政令で定められる

答え・解説

正答：政令で定められる

正解は「政令で定められる」です。指定数量は危険物の規制に関する政令で定められます。

要点：指定数量を確認

Q094

指定数量 | 2択

【法令】 次のうち、指定数量の倍数の計算として正しいものはどちらか。

- A. 貯蔵又は取扱数量÷指定数量
- B. 指定数量÷貯蔵又は取扱数量

答え・解説

正答：貯蔵又は取扱数量÷指定数量

正解は「貯蔵又は取扱数量÷指定数量」です。倍数は、実際の数量をその危険物の指定数量で割って求めます。

要点：指定数量を確認

Q095

指定数量 | 2択

【法令】 次のうち、特殊引火物の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 50 L
- B. 200 L

答え・解説

正答：50 L

正解は「50 L」です。特殊引火物の指定数量は50Lです。

要点：指定数量を確認

Q096

指定数量 | 2択

【法令】 次のうち、第1石油類・非水溶性液体の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 200 L
- B. 50 L

答え・解説

正答：200 L

正解は「200 L」です。第1石油類の非水溶性液体は200Lです。
要点：指定数量を確認

Q097

指定数量 | 2択

【法令】 次のうち、第1石油類・水溶性液体の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 400 L
- B. 50 L

答え・解説

正答：400 L

正解は「400 L」です。第1石油類の水溶性液体は400Lです。
要点：指定数量を確認

Q098

指定数量 | 2択

【法令】 次のうち、アルコール類の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 400 L
- B. 50 L

答え・解説

正答：400 L

正解は「400 L」です。アルコール類の指定数量は400Lです。
要点：指定数量を確認

Q099

指定数量 | 2択

【法令】 次のうち、第2石油類・非水溶性液体の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 400 L
- B. 1,000 L

答え・解説

正答：1,000 L

正解は「1,000 L」です。第2石油類の非水溶性液体は1,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q100

指定数量 | 2択

【法令】 次のうち、第2石油類・水溶性液体の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 400 L
- B. 2,000 L

答え・解説

正答：2,000 L

正解は「2,000 L」です。第2石油類の水溶性液体は2,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q101

指定数量 | 2択

【法令】次のうち、第3石油類・非水溶性液体の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 1,000 L
- B. 2,000 L

答え・解説

正答：2,000 L

正解は「2,000 L」です。第3石油類の非水溶性液体は2,000Lです。

要点：指定数量を確認

Q102

指定数量 | 2択

【法令】次のうち、第3石油類・水溶性液体の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 4,000 L
- B. 1,000 L

答え・解説

正答：4,000 L

正解は「4,000 L」です。第3石油類の水溶性液体は4,000Lです。

要点：指定数量を確認

Q103

指定数量 | 2択

【法令】次のうち、第4石油類の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 1,000 L
- B. 6,000 L

答え・解説

正答：6,000 L

正解は「6,000 L」です。第4石油類の指定数量は6,000Lです。

要点：指定数量を確認

Q104

指定数量 | 2択

【法令】次のうち、動植物油類の指定数量として正しいものはどちらか。

- A. 2,000 L
- B. 10,000 L

答え・解説

正答：10,000 L

正解は「10,000 L」です。動植物油類の指定数量は10,000Lです。

要点：指定数量を確認

Q105

標識・掲示 | 2択

【法令】次のうち、第4類危険物の貯蔵・取扱場所で重要な注意表示として正しいものはどちらか。

- A. 立入禁止
- B. 火気厳禁

答え・解説

正答：火気厳禁

正解は「火気厳禁」です。第4類は引火性液体なので、火気厳禁の管理が重要です。

要点：標識・掲示を確認

Q106

運搬・移送 | 2択

【法令】次のうち、容器に入れた危険物を車両などで運ぶ行為として正しいものはどちらか。

- A. 移送
- B. 運搬

答え・解説

正答：運搬

正解は「運搬」です。容器で運ぶ場合は運搬、移動タンク等で運ぶ場合は移送として整理されます。

要点：運搬・移送を確認

Q107

運搬・移送 | 2択

【法令】次のうち、移動タンク貯蔵所で危険物を運ぶ行為として正しいものはどちらか。

- A. 移送
- B. 運搬

答え・解説

正答：移送

正解は「移送」です。タンクローリーのような移動タンク貯蔵所で運ぶ場合は移送です。

要点：運搬・移送を確認

Q108

運搬・移送 | 2択

【法令】次のうち、移動タンク貯蔵所に乗車して移送するときの義務として正しいものはどちらか。

- A. 完成検査
- B. 免状を携帯する

答え・解説

正答：免状を携帯する

正解は「免状を携帯する」です。移送時に乗車する危険物取扱者は免状を携帯します。

要点：運搬・移送を確認

Q109

少量危険物 | 2択

【法令】次のうち、少量危険物に該当する数量の目安として正しいものはどちらか。

- A. 指定数量の5分の1以上、指定数量未満
- B. 指定数量以上

答え・解説

正答：指定数量の5分の1以上、指定数量未満

正解は「指定数量の5分の1以上、指定数量未満」です。少量危険物は、一般に指定数量の5分の1以上で指定数量未満の範囲です。

要点：少量危険物を確認

Q110

施設区分 | 2択

【法令】次のうち、ガソリンスタンドが該当する代表的な取扱所として正しいものはどちらか。

- A. 販売取扱所
- B. 給油取扱所

答え・解説

正答：給油取扱所

正解は「給油取扱所」です。ガソリンスタンドは給油取扱所に該当します。

要点：施設区分を確認

Q111

施設区分 | 2択

【法令】 次のうち、危険物を販売のために取り扱う施設として正しいものはどちらか。

- A. 給油取扱所
- B. 販売取扱所

答え・解説

正答：販売取扱所

正解は「販売取扱所」です。販売のために扱う取扱所は販売取扱所です。

要点：施設区分を確認

Q112

施設区分 | 2択

【法令】 次のうち、配管などにより危険物を移送する取扱所として正しいものはどちらか。

- A. 移送取扱所
- B. 給油取扱所

答え・解説

正答：移送取扱所

正解は「移送取扱所」です。配管などによる移送は移送取扱所として整理されます。

要点：施設区分を確認

Q113

施設区分 | 2択

【法令】 次のうち、屋内で危険物を貯蔵する施設として正しいものはどちらか。

- A. 屋内貯蔵所
- B. 給油取扱所

答え・解説

正答：屋内貯蔵所

正解は「屋内貯蔵所」です。屋内で貯蔵する施設は屋内貯蔵所です。

要点：施設区分を確認

Q114

施設区分 | 2択

【法令】 次のうち、地下タンクにより危険物を貯蔵する施設として正しいものはどちらか。

- A. 地下タンク貯蔵所
- B. 屋外タンク貯蔵所

答え・解説

正答：地下タンク貯蔵所

正解は「地下タンク貯蔵所」です。地下タンクを用いる貯蔵所は地下タンク貯蔵所です。

要点：施設区分を確認

Q115

施設区分 | 2択

【法令】 次のうち、屋外タンクにより危険物を貯蔵する施設として正しいものはどちらか。

- A. 屋外タンク貯蔵所
- B. 地下タンク貯蔵所

答え・解説

正答：屋外タンク貯蔵所

正解は「屋外タンク貯蔵所」です。屋外タンクで貯蔵する施設は屋外タンク貯蔵所です。

要点：施設区分を確認

Q116

施設区分 | 2択

【法令】 次のうち、車両に固定されたタンクで危険物を貯蔵・移送する施設として正しいものはどちらか。

- A. 地下タンク貯蔵所
- B. 移動タンク貯蔵所

答え・解説

正答：移動タンク貯蔵所

正解は「移動タンク貯蔵所」です。タンクローリーは移動タンク貯蔵所に該当します。

要点：施設区分を確認

Q117

保安距離・空地 | 2択

【法令】 次のうち、周囲の建築物などとの安全上の距離として正しいものはどちらか。

- A. 保安距離
- B. 保有空地

答え・解説

正答：保安距離

正解は「保安距離」です。保安距離は、周囲の保護対象との距離を確保する考え方です。

要点：保安距離・空地を確認

Q118

保安距離・空地 | 2択

【法令】 次のうち、施設の周囲に確保する空地として正しいものはどちらか。

- A. 保有空地
- B. 保安距離

答え・解説

正答：保有空地

正解は「保有空地」です。保有空地は、消火活動や延焼防止のために施設周囲に確保します。

要点：保安距離・空地を確認

Q119

保安管理 | 2択

【法令】 次のうち、一定の製造所等で定める自主保安のルールとして正しいものはどちらか。

- A. 完成検査
- B. 予防規程

答え・解説

正答：予防規程

正解は「予防規程」です。一定の施設では予防規程を定め、認可を受けて保安管理を行います。

要点：保安管理を確認

Q120

取扱い | 2択

【法令】 次のうち、指定数量以上を貯蔵・取扱いできる場所として正しいものはどちらか。

- A. どこでもよい
- B. 製造所・貯蔵所・取扱所

答え・解説

正答：製造所・貯蔵所・取扱所

正解は「製造所・貯蔵所・取扱所」です。指定数量以上は、原則として製造所等以外で貯蔵・取扱いできません。

要点：取扱いを確認

Q121

取扱い | 2択

【法令】 次のうち、無資格者が危険物を取り扱う場合の基本として正しいものはどちらか。

- A. 甲種又は該当乙種の立会いが必要
- B. 誰の立会いも不要

答え・解説

正答：甲種又は該当乙種の立会いが必要

正解は「甲種又は該当乙種の立会いが必要」です。無資格者の取扱いは、有資格者の立会いが基本です。

要点：取扱いを確認

Q122

免状 | 2択

【法令】 次のうち、免状写真の定期的な書換えとして正しいものはどちらか。

- A. 毎年
- B. 10年以内ごと

答え・解説

正答：10年以内ごと

正解は「10年以内ごと」です。危険物取扱者免状の写真は、原則10年以内ごとに書換えが必要です。

要点：免状を確認

Q123

免状 | 2択

【法令】 次のうち、免状を亡失・汚損した場合の手続として正しいものはどちらか。

- A. 再交付申請
- B. 完成検査申請

答え・解説

正答：再交付申請

正解は「再交付申請」です。免状をなくしたり汚したりしたときは再交付の手続です。

要点：免状を確認

Q124

免状 | 2択

【法令】 次のうち、氏名など免状記載事項に変更があった場合の手続として正しいものはどちらか。

- A. 書換え申請
- B. 再交付申請

答え・解説

正答：書換え申請

正解は「書換え申請」です。免状の記載事項が変わった場合は書換えが必要です。

要点：免状を確認

Q125

保安講習 | 2択

【法令】 次のうち、危険物取扱作業に従事する免状保有者が受ける講習として正しいものはどちらか。

- A. 保安講習
- B. 完成検査

答え・解説

正答：保安講習

正解は「保安講習」です。取扱作業に従事する免状保有者は、定められた時期に保安講習を受けます。

要点：保安講習を確認

Q126

運搬・移送 | 2択

【法令】 次のうち、指定数量未満の危険物を容器で運ぶ場合として正しいものはどちらか。

- A. 運搬基準の対象になる
- B. 一切の基準がない

答え・解説

正答：運搬基準の対象になる

正解は「運搬基準の対象になる」です。運搬基準は指定数量未満でも問題になります。

要点：運搬・移送を確認

Q127

保安管理 | 2択

【法令】 次のうち、火災予防・消火活動のため施設に備えるものとして正しいものはどちらか。

- A. 消火設備
- B. 娯楽設備

答え・解説

正答：消火設備

正解は「消火設備」です。危険物施設には、区分に応じた消火設備が求められます。

要点：保安管理を確認

Q128

標識・掲示 | 2択

【法令】 次のうち、製造所等で掲示する情報の例として正しいものはどちらか。

- A. 従業員の趣味
- B. 危険物の類・品名・最大数量・指定数量の倍数

答え・解説

正答：危険物の類・品名・最大数量・指定数量の倍数

正解は「危険物の類・品名・最大数量・指定数量の倍数」です。掲示板には危険物の類・品名・最大数量・倍数などを示します。

要点：標識・掲示を確認

Q129

分類 | 2択

【法令】 次のうち、第4類の危険物が該当する性状として正しいものはどちらか。

- A. 第4類 引火性液体
- B. 第1類 酸化性固体

答え・解説

正答：第4類 引火性液体

正解は「第4類 引火性液体」です。第4類は引火性液体です。

要点：分類を確認

Q130

分類 | 2択

【法令】 次のうち、第4類危険物の品名区分に含まれるものとして正しいものはどちらか。

- A. アルコール類
- B. 第1類 酸化性固体

答え・解説

正答：アルコール類

正解は「アルコール類」です。アルコール類は第4類危険物の品名区分です。

要点：分類を確認

Q131

分類 | 2択

【法令】次のうち、第4類危険物の品名区分に含まれるものとして正しいものはどちらか。

- A. 第3類 自然発火性物質及び禁水性物質
- B. 特殊引火物

答え・解説

正答：特殊引火物

正解は「特殊引火物」です。特殊引火物は第4類の品名区分です。

要点：分類を確認

Q132

分類 | 2択

【法令】次のうち、第4類危険物の品名区分に含まれるものとして正しいものはどちらか。

- A. 第2類 可燃性固体
- B. 動植物油類

答え・解説

正答：動植物油類

正解は「動植物油類」です。動植物油類も第4類の品名区分です。

要点：分類を確認

Q133

分類 | 2択

【法令】次のうち、第1石油類にある水溶性区分として正しいものはどちらか。

- A. 第1石油類 水溶性液体
- B. 第1石油類 非水溶性液体

答え・解説

正答：第1石油類 水溶性液体

正解は「第1石油類 水溶性液体」です。第1石油類は水溶性・非水溶性で指定数量が異なります。

要点：分類を確認

Q134

分類 | 2択

【法令】次のうち、第2石油類にある非水溶性区分として正しいものはどちらか。

- A. 第1石油類 水溶性液体
- B. 第2石油類 非水溶性液体

答え・解説

正答：第2石油類 非水溶性液体

正解は「第2石油類 非水溶性液体」です。第2石油類にも水溶性・非水溶性の区分があります。

要点：分類を確認

Q135

分類 | 2択

【法令】次のうち、第3石油類にある水溶性区分として正しいものはどちらか。

- A. 第3石油類 水溶性液体
- B. 第3石油類 非水溶性液体

答え・解説

正答：第3石油類 水溶性液体

正解は「第3石油類 水溶性液体」です。第3石油類の水溶性液体の指定数量は4,000Lです。

要点：分類を確認

Q136

危険物分類 | 4択

【法令】次のうち、第2類危険物の性質として正しいものはどれか。

- A. 第6類 酸化性液体
- B. 第1類 酸化性固体
- C. 第2類 可燃性固体
- D. 第3類 自然発火性物質及び禁水性物質

答え・解説

正答：第2類 可燃性固体

正解は「第2類 可燃性固体」です。第2類は可燃性固体です。

要点：危険物分類を確認

Q137

危険物分類 | 4択

【法令】次のうち、第3類危険物の性質として正しいものはどれか。

- A. 第1類 酸化性固体
- B. 第3類 自然発火性物質及び禁水性物質
- C. 第5類 自己反応性物質
- D. 第4類 引火性液体

答え・解説

正答：第3類 自然発火性物質及び禁水性物質

正解は「第3類 自然発火性物質及び禁水性物質」です。第3類は自然発火性物質及び禁水性物質です。

要点：危険物分類を確認

Q138

危険物分類 | 4択

【法令】次のうち、第5類危険物の性質として正しいものはどれか。

- A. 第6類 酸化性液体
- B. 第4類 引火性液体
- C. 第2類 可燃性固体
- D. 第5類 自己反応性物質

答え・解説

正答：第5類 自己反応性物質

正解は「第5類 自己反応性物質」です。第5類は自己反応性物質です。

要点：危険物分類を確認

Q139

危険物分類 | 4択

【法令】次のうち、第6類危険物の性質として正しいものはどれか。

- A. 第1類 酸化性固体
- B. 第6類 酸化性液体
- C. 第5類 自己反応性物質
- D. 第4類 引火性液体

答え・解説

正答：第6類 酸化性液体

正解は「第6類 酸化性液体」です。第6類は酸化性液体です。

要点：危険物分類を確認

Q140

危険物分類 | 4択

【法令】次のうち、消防法上の危険物の考え方として正しいものはどれか。

- A. 指定数量
- B. 消防法別表第一の品名に該当し、一定の性状を有する物品
- C. 消防法
- D. 第4類 引火性液体

答え・解説

正答：消防法別表第一の品名に該当し、一定の性状を有する物品

正解は「消防法別表第一の品名に該当し、一定の性状を有する物品」です。危険物は、消防法別表第一の品名と性状に基づきます。

要点：危険物分類を確認

Q141

施設区分 | 4択

【法令】次のうち、危険物施設の基本区分として正しいものはどれか。

- A. 給油取扱所
- B. 製造所だけ
- C. 移動タンク貯蔵所
- D. 製造所・貯蔵所・取扱所

答え・解説

正答：製造所・貯蔵所・取扱所

正解は「製造所・貯蔵所・取扱所」です。危険物施設は製造所、貯蔵所、取扱所に大別されます。

要点：施設区分を確認

Q142

許可・検査 | 4択

【法令】次のうち、製造所等の設置で原則必要な手続として正しいものはどれか。

- A. 免状を携帯する
- B. 設置許可
- C. 仮貯蔵・仮取扱い
- D. 完成検査

答え・解説

正答：設置許可

正解は「設置許可」です。指定数量以上を扱う製造所等は、設置前に許可が必要です。

要点：許可・検査を確認

Q143

許可・検査 | 4択

【法令】次のうち、設置又は変更後、使用前に受ける検査として正しいものはどれか。

- A. 仮使用承認
- B. 完成検査
- C. 変更許可
- D. 予防規程

答え・解説

正答：完成検査

正解は「完成検査」です。完成検査に合格してから使用するのが原則です。

要点：許可・検査を確認

Q144

許可・検査 | 4択

【法令】次のうち、製造所等の位置・構造・設備を変更するときの手続として正しいものはどれか。

- A. 仮貯蔵・仮取扱い
- B. 変更許可
- C. 免状を携帯する
- D. 完成検査

答え・解説

正答：変更許可

正解は「変更許可」です。変更工事の前に変更許可を受ける必要があります。

要点：許可・検査を確認

Q145

許可・検査 | 4択

【法令】次のうち、変更工事中に一部を使うための手続として正しいものはどれか。

- A. 仮使用承認
- B. 予防規程
- C. 設置許可
- D. 完成検査

答え・解説

正答：仮使用承認

正解は「仮使用承認」です。変更工事中に使用する場合は仮使用承認が問題になります。

要点：許可・検査を確認

Q146

許可・検査 | 4択

【法令】次のうち、指定数量以上の危険物を一時的に貯蔵・取扱いする制度として正しいものはどれか。

- A. 仮使用承認
- B. 仮貯蔵・仮取扱い
- C. 運搬
- D. 完成検査

答え・解説

正答：仮貯蔵・仮取扱い

正解は「仮貯蔵・仮取扱い」です。仮貯蔵・仮取扱いは、承認を受けて短期間だけ行う制度です。

要点：許可・検査を確認

Q147

許可・検査 | 4択

【法令】次のうち、仮貯蔵・仮取扱いの期間として正しいものはどれか。

- A. 1年以内
- B. 30日以内
- C. 期間制限なし
- D. 10日以内

答え・解説

正答：10日以内

正解は「10日以内」です。仮貯蔵・仮取扱いは10日以内が基本です。

要点：許可・検査を確認

Q148

許可・検査 | 4択

【法令】次のうち、仮貯蔵・仮取扱いの承認者として正しいものはどれか。

- A. 危険物保安監督者
- B. 消防長又は消防署長
- C. 市町村長等
- D. 都道府県知事

答え・解説

正答：消防長又は消防署長

正解は「消防長又は消防署長」です。仮貯蔵・仮取扱いは消防長又は消防署長の承認を受けます。

要点：許可・検査を確認

Q149

許可・権限 | 4択

【法令】次のうち、製造所等の設置許可を行う者として正しいものはどれか。

- A. 市町村長等
- B. 消防長又は消防署長
- C. 危険物保安監督者
- D. 都道府県知事

答え・解説

正答：市町村長等

正解は「市町村長等」です。設置許可は市町村長等が行います。

要点：許可・権限を確認

Q150

免状 | 4択

【法令】次のうち、危険物取扱者免状の交付者として正しいものはどれか。

- A. 危険物保安監督者
- B. 消防長又は消防署長
- C. 都道府県知事
- D. 市町村長等

答え・解説

正答：都道府県知事

正解は「都道府県知事」です。免状は都道府県知事が交付します。

要点：免状を確認

Q151

保安管理 | 4択

【法令】次のうち、危険物保安監督者に必要な実務経験として正しいものはどれか。

- A. 6か月以上の実務経験
- B. 5年以上
- C. 実務経験は不要
- D. 1週間以上

答え・解説

正答：6か月以上の実務経験

正解は「6か月以上の実務経験」です。危険物保安監督者は、甲種又は該当乙種の免状と6か月以上の実務経験が基本です。

要点：保安管理を確認

Q152

保安管理 | 4択

【法令】次のうち、危険物保安監督者を選任・解任したときの手続として正しいものはどれか。

- A. 設置許可
- B. 免状を携帯する
- C. 市町村長等へ届け出る
- D. 完成検査

答え・解説

正答：市町村長等へ届け出る

正解は「市町村長等へ届け出る」です。選任・解任したときは、市町村長等への届出が必要です。

要点：保安管理を確認

Q153

指定数量 | 4択

【法令】次のうち、指定数量を定める法令上の位置づけとして正しいものはどれか。

- A. 各事業所が自由に定める
- B. 政令で定められる
- C. 都道府県ごとに任意に定める
- D. 保安監督者が定める

答え・解説

正答：政令で定められる

正解は「政令で定められる」です。指定数量は危険物の規制に関する政令で定められます。

要点：指定数量を確認

Q154

指定数量 | 4択

【法令】次のうち、指定数量の倍数の計算として正しいものはどれか。

- A. 貯蔵又は取扱数量÷指定数量
- B. 貯蔵数量+指定数量
- C. 取扱数量×指定数量
- D. 指定数量÷貯蔵又は取扱数量

答え・解説

正答：貯蔵又は取扱数量÷指定数量

正解は「貯蔵又は取扱数量÷指定数量」です。倍数は、実際の数量をその危険物の指定数量で割って求めます。

要点：指定数量を確認

Q155

指定数量 | 4択

【法令】次のうち、特殊引火物の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 400 L
- B. 200 L
- C. 1,000 L
- D. 50 L

答え・解説

正答：50 L

正解は「50 L」です。特殊引火物の指定数量は50Lです。

要点：指定数量を確認

Q156

指定数量 | 4択

【法令】 次のうち、第1石油類・非水溶性液体の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 200 L
- B. 400 L
- C. 50 L
- D. 1,000 L

答え・解説

正答：200 L

正解は「200 L」です。第1石油類の非水溶性液体は200Lです。
要点：指定数量を確認

Q157

指定数量 | 4択

【法令】 次のうち、第1石油類・水溶性液体の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 200 L
- B. 1,000 L
- C. 400 L
- D. 50 L

答え・解説

正答：400 L

正解は「400 L」です。第1石油類の水溶性液体は400Lです。
要点：指定数量を確認

Q158

指定数量 | 4択

【法令】 次のうち、アルコール類の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 50 L
- B. 400 L
- C. 1,000 L
- D. 200 L

答え・解説

正答：400 L

正解は「400 L」です。アルコール類の指定数量は400Lです。
要点：指定数量を確認

Q159

指定数量 | 4択

【法令】 次のうち、第2石油類・非水溶性液体の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 400 L
- B. 2,000 L
- C. 6,000 L
- D. 1,000 L

答え・解説

正答：1,000 L

正解は「1,000 L」です。第2石油類の非水溶性液体は1,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q160

指定数量 | 4択

【法令】 次のうち、第2石油類・水溶性液体の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 400 L
- B. 1,000 L
- C. 4,000 L
- D. 2,000 L

答え・解説

正答：2,000 L

正解は「2,000 L」です。第2石油類の水溶性液体は2,000Lです。
要点：指定数量を確認

Q161

指定数量 | 4択

【法令】次のうち、第3石油類・非水溶性液体の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 1,000 L
- B. 4,000 L
- C. 6,000 L
- D. 2,000 L

答え・解説

正答：2,000 L

正解は「2,000 L」です。第3石油類の非水溶性液体は2,000Lです。

要点：指定数量を確認

Q162

指定数量 | 4択

【法令】次のうち、第3石油類・水溶性液体の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 1,000 L
- B. 2,000 L
- C. 6,000 L
- D. 4,000 L

答え・解説

正答：4,000 L

正解は「4,000 L」です。第3石油類の水溶性液体は4,000Lです。

要点：指定数量を確認

Q163

指定数量 | 4択

【法令】次のうち、第4石油類の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 10,000 L
- B. 1,000 L
- C. 6,000 L
- D. 4,000 L

答え・解説

正答：6,000 L

正解は「6,000 L」です。第4石油類の指定数量は6,000Lです。

要点：指定数量を確認

Q164

指定数量 | 4択

【法令】次のうち、動植物油類の指定数量として正しいものはどれか。

- A. 2,000 L
- B. 4,000 L
- C. 10,000 L
- D. 6,000 L

答え・解説

正答：10,000 L

正解は「10,000 L」です。動植物油類の指定数量は10,000Lです。

要点：指定数量を確認

Q165

標識・掲示 | 4択

【法令】次のうち、第4類危険物の貯蔵・取扱場所で重要な注意表示として正しいものはどれか。

- A. 完成検査
- B. 火気厳禁
- C. 指定数量
- D. 立入禁止

答え・解説

正答：火気厳禁

正解は「火気厳禁」です。第4類は引火性液体なので、火気厳禁の管理が重要です。

要点：標識・掲示を確認

Q166

運搬・移送 | 4択

【法令】次のうち、容器に入れた危険物を車両などで運ぶ行為として正しいものはどれか。

- A. 完成検査
- B. 仮貯蔵・仮取扱い
- C. 運搬
- D. 移送

答え・解説

正答：運搬

正解は「運搬」です。容器で運ぶ場合は運搬、移動タンク等で運ぶ場合は移送として整理されます。

要点：運搬・移送を確認

Q167

運搬・移送 | 4択

【法令】次のうち、移動タンク貯蔵所で危険物を運ぶ行為として正しいものはどれか。

- A. 移送
- B. 販売取扱所
- C. 仮貯蔵・仮取扱い
- D. 運搬

答え・解説

正答：移送

正解は「移送」です。タンクローリーのような移動タンク貯蔵所で運ぶ場合は移送です。

要点：運搬・移送を確認

Q168

運搬・移送 | 4択

【法令】次のうち、移動タンク貯蔵所に乗車して移送するときの義務として正しいものはどれか。

- A. 設置許可
- B. 予防規程
- C. 完成検査
- D. 免状を携帯する

答え・解説

正答：免状を携帯する

正解は「免状を携帯する」です。移送時に乗車する危険物取扱者は免状を携帯します。

要点：運搬・移送を確認

Q169

少量危険物 | 4択

【法令】次のうち、少量危険物に該当する数量の目安として正しいものはどれか。

- A. 常に指定数量未満なら規制なし
- B. 指定数量以上
- C. 指定数量の5分の1以上、指定数量未満
- D. 指定数量の10倍以上

答え・解説

正答：指定数量の5分の1以上、指定数量未満

正解は「指定数量の5分の1以上、指定数量未満」です。少量危険物は、一般に指定数量の5分の1以上で指定数量未満の範囲です。

要点：少量危険物を確認

Q170

施設区分 | 4択

【法令】次のうち、ガソリンスタンドが該当する代表的な取扱所として正しいものはどれか。

- A. 販売取扱所
- B. 給油取扱所
- C. 移動タンク貯蔵所
- D. 移送取扱所

答え・解説

正答：給油取扱所

正解は「給油取扱所」です。ガソリンスタンドは給油取扱所に該当します。

要点：施設区分を確認

Q171

施設区分 | 4択

【法令】 次のうち、危険物を販売のために取り扱う施設として正しいものはどれか。

- A. 販売取扱所
- B. 移送取扱所
- C. 地下タンク貯蔵所
- D. 給油取扱所

答え・解説

正答：販売取扱所

正解は「販売取扱所」です。販売のために扱う取扱所は販売取扱所です。

要点：施設区分を確認

Q172

施設区分 | 4択

【法令】 次のうち、配管などにより危険物を移送する取扱所として正しいものはどれか。

- A. 移送取扱所
- B. 屋内貯蔵所
- C. 給油取扱所
- D. 販売取扱所

答え・解説

正答：移送取扱所

正解は「移送取扱所」です。配管などによる移送は移送取扱所として整理されます。

要点：施設区分を確認

Q173

施設区分 | 4択

【法令】 次のうち、屋内で危険物を貯蔵する施設として正しいものはどれか。

- A. 移送取扱所
- B. 給油取扱所
- C. 屋内貯蔵所
- D. 販売取扱所

答え・解説

正答：屋内貯蔵所

正解は「屋内貯蔵所」です。屋内で貯蔵する施設は屋内貯蔵所です。

要点：施設区分を確認

Q174

施設区分 | 4択

【法令】 次のうち、地下タンクにより危険物を貯蔵する施設として正しいものはどれか。

- A. 移送取扱所
- B. 地下タンク貯蔵所
- C. 給油取扱所
- D. 屋外タンク貯蔵所

答え・解説

正答：地下タンク貯蔵所

正解は「地下タンク貯蔵所」です。地下タンクを用いる貯蔵所は地下タンク貯蔵所です。

要点：施設区分を確認

Q175

施設区分 | 4択

【法令】 次のうち、屋外タンクにより危険物を貯蔵する施設として正しいものはどれか。

- A. 一般取扱所
- B. 屋外タンク貯蔵所
- C. 地下タンク貯蔵所
- D. 販売取扱所

答え・解説

正答：屋外タンク貯蔵所

正解は「屋外タンク貯蔵所」です。屋外タンクで貯蔵する施設は屋外タンク貯蔵所です。

要点：施設区分を確認

Q176

施設区分 | 4択

【法令】次のうち、車両に固定されたタンクで危険物を貯蔵・移送する施設として正しいものはどれか。

- A. 地下タンク貯蔵所
- B. 販売取扱所
- C. 移動タンク貯蔵所
- D. 屋外貯蔵所

答え・解説

正答：移動タンク貯蔵所

正解は「移動タンク貯蔵所」です。タンクローリーは移動タンク貯蔵所に該当します。

要点：施設区分を確認

Q177

保安距離・空地 | 4択

【法令】次のうち、周囲の建築物などとの安全上の距離として正しいものはどれか。

- A. 貯蔵又は取扱数量÷指定数量
- B. 保有空地
- C. 保安距離
- D. 指定数量

答え・解説

正答：保安距離

正解は「保安距離」です。保安距離は、周囲の保護対象との距離を確保する考え方です。

要点：保安距離・空地を確認

Q178

保安距離・空地 | 4択

【法令】次のうち、施設の周囲に確保する空地として正しいものはどれか。

- A. 免状を携帯する
- B. 保安距離
- C. 保有空地
- D. 指定数量の5分の1以上、指定数量未満

答え・解説

正答：保有空地

正解は「保有空地」です。保有空地は、消火活動や延焼防止のために施設周囲に確保します。

要点：保安距離・空地を確認

Q179

保安管理 | 4択

【法令】次のうち、一定の製造所等で定める自主保安のルールとして正しいものはどれか。

- A. 予防規程
- B. 完成検査
- C. 指定数量の5分の1以上、指定数量未満
- D. 運搬

答え・解説

正答：予防規程

正解は「予防規程」です。一定の施設では予防規程を定め、認可を受けて保安管理を行います。

要点：保安管理を確認

Q180

取扱い | 4択

【法令】次のうち、指定数量以上を貯蔵・取扱いできる場所として正しいものはどれか。

- A. 製造所・貯蔵所・取扱所
- B. 保安監督者の自宅
- C. どこでもよい
- D. 屋外ならどこでもよい

答え・解説

正答：製造所・貯蔵所・取扱所

正解は「製造所・貯蔵所・取扱所」です。指定数量以上は、原則として製造所等以外で貯蔵・取扱いできません。

要点：取扱いを確認

Q181

取扱い | 4択

【法令】 次のうち、無資格者が危険物を取り扱う場合の基本として正しいものはどれか。

- A. 誰の立会いも不要
- B. 保安監督者でなくても家族なら可
- C. 甲種又は該当乙種の立会いが必要
- D. 丙種ならすべて立会い可能

答え・解説

正答：甲種又は該当乙種の立会いが必要

正解は「甲種又は該当乙種の立会いが必要」です。無資格者の取扱いは、有資格者の立会いが基本です。

要点：取扱いを確認

Q182

免状 | 4択

【法令】 次のうち、免状写真の定期的な書換えとして正しいものはどれか。

- A. 毎年
- B. 一度交付されれば不要
- C. 3年ごと
- D. 10年以内ごと

答え・解説

正答：10年以内ごと

正解は「10年以内ごと」です。危険物取扱者免状の写真は、原則10年以内ごとに書換えが必要です。

要点：免状を確認

Q183

免状 | 4択

【法令】 次のうち、免状を亡失・汚損した場合の手続として正しいものはどれか。

- A. 再交付申請
- B. 完成検査申請
- C. 仮使用承認申請
- D. 設置許可申請

答え・解説

正答：再交付申請

正解は「再交付申請」です。免状をなくしたり汚したりしたときは再交付の手続です。

要点：免状を確認

Q184

免状 | 4択

【法令】 次のうち、氏名など免状記載事項に変更があった場合の手続として正しいものはどれか。

- A. 運搬届出
- B. 完成検査申請
- C. 書換え申請
- D. 再交付申請

答え・解説

正答：書換え申請

正解は「書換え申請」です。免状の記載事項が変わった場合は書換えが必要です。

要点：免状を確認

Q185

保安講習 | 4択

【法令】 次のうち、危険物取扱作業に従事する免状保有者が受ける講習として正しいものはどれか。

- A. 完成検査
- B. 指定数量計算
- C. 保安講習
- D. 仮貯蔵

答え・解説

正答：保安講習

正解は「保安講習」です。取扱作業に従事する免状保有者は、定められた時期に保安講習を受けます。

要点：保安講習を確認

Q186

運搬・移送 | 4択

【法令】次のうち、指定数量未満の危険物を容器で運ぶ場合として正しいものはどれか。

- A. 設置許可が必要
- B. 一切の基準がない
- C. 完成検査が必要
- D. 運搬基準の対象になる

答え・解説

正答：運搬基準の対象になる

正解は「運搬基準の対象になる」です。運搬基準は指定数量未満でも問題になります。

要点：運搬・移送を確認

Q187

保安管理 | 4択

【法令】次のうち、火災予防・消火活動のため施設に備えるものとして正しいものはどれか。

- A. 冷房設備のみ
- B. 娯楽設備
- C. 消火設備
- D. 販売設備のみ

答え・解説

正答：消火設備

正解は「消火設備」です。危険物施設には、区分に応じた消火設備が求められます。

要点：保安管理を確認

Q188

標識・掲示 | 4択

【法令】次のうち、製造所等で掲示する情報の例として正しいものはどれか。

- A. 従業員の趣味
- B. 天気予報だけ
- C. 危険物の類・品名・最大数量・指定数量の倍数
- D. 近隣店舗の売上

答え・解説

正答：危険物の類・品名・最大数量・指定数量の倍数

正解は「危険物の類・品名・最大数量・指定数量の倍数」です。掲示板には危険物の類・品名・最大数量・倍数などを示します。

要点：標識・掲示を確認

Q189

分類 | 4択

【法令】次のうち、第4類の危険物が該当する性状として正しいものはどれか。

- A. 第2類 可燃性固体
- B. 第1類 酸化性固体
- C. 第4類 引火性液体
- D. 第6類 酸化性液体

答え・解説

正答：第4類 引火性液体

正解は「第4類 引火性液体」です。第4類は引火性液体です。

要点：分類を確認

Q190

分類 | 4択

【法令】次のうち、第4類危険物の品名区分に含まれるものとして正しいものはどれか。

- A. 第1類 酸化性固体
- B. 第2類 可燃性固体
- C. 第6類 酸化性液体
- D. アルコール類

答え・解説

正答：アルコール類

正解は「アルコール類」です。アルコール類は第4類危険物の品名区分です。

要点：分類を確認

Q191

分類 | 4択

【法令】次のうち、第4類危険物の品名区分に含まれるものとして正しいものはどれか。

- A. 第6類 酸化性液体
- B. 第5類 自己反応性物質
- C. 特殊引火物
- D. 第3類 自然発火性物質及び禁水性物質

答え・解説

正答：特殊引火物

正解は「特殊引火物」です。特殊引火物は第4類の品名区分です。

要点：分類を確認

Q192

分類 | 4択

【法令】次のうち、第4類危険物の品名区分に含まれるものとして正しいものはどれか。

- A. 第2類 可燃性固体
- B. 第5類 自己反応性物質
- C. 動植物油類
- D. 第3類 自然発火性物質及び禁水性物質

答え・解説

正答：動植物油類

正解は「動植物油類」です。動植物油類も第4類の品名区分です。

要点：分類を確認

Q193

分類 | 4択

【法令】次のうち、第1石油類にある水溶性区分として正しいものはどれか。

- A. 第3石油類 非水溶性液体
- B. 第1石油類 非水溶性液体
- C. 第2石油類 非水溶性液体
- D. 第1石油類 水溶性液体

答え・解説

正答：第1石油類 水溶性液体

正解は「第1石油類 水溶性液体」です。第1石油類は水溶性・非水溶性で指定数量が異なります。

要点：分類を確認

Q194

分類 | 4択

【法令】次のうち、第2石油類にある非水溶性区分として正しいものはどれか。

- A. 第1石油類 水溶性液体
- B. 第2石油類 非水溶性液体
- C. 動植物油類
- D. 第3石油類 水溶性液体

答え・解説

正答：第2石油類 非水溶性液体

正解は「第2石油類 非水溶性液体」です。第2石油類にも水溶性・非水溶性の区分があります。

要点：分類を確認

Q195

分類 | 4択

【法令】次のうち、第3石油類にある水溶性区分として正しいものはどれか。

- A. 第3石油類 非水溶性液体
- B. 第4石油類
- C. 第3石油類 水溶性液体
- D. 動植物油類

答え・解説

正答：第3石油類 水溶性液体

正解は「第3石油類 水溶性液体」です。第3石油類の水溶性液体の指定数量は4,000Lです。

要点：分類を確認

Q196

取扱い | 4択

【法令】 次のうち、指定数量以上の危険物を貯蔵所等以外で扱う場合の原則として正しいものはどれか。

- A. 夜間だけ扱える
- B. 屋内なら自由に扱える
- C. 常に自由に扱える
- D. 原則として禁止される

答え・解説

正答：原則として禁止される

正解は「原則として禁止される」です。指定数量以上は、許可を受けた製造所等で扱うのが原則です。

要点：取扱いを確認

Q197

取扱い | 4択

【法令】 次のうち、危険物取扱者以外が危険物を扱う条件として正しいものはどれか。

- A. 本人の経験だけでよい
- B. 夜間なら不要
- C. 有資格者の立会いがあること
- D. 家族なら常に可能

答え・解説

正答：有資格者の立会いがあること

正解は「有資格者の立会いがあること」です。無資格者の取扱いは、該当する有資格者の立会いが必要です。

要点：取扱いを確認

Q198

保安管理 | 4択

【法令】 次のうち、危険物保安監督者の主な役割として正しいものはどれか。

- A. 近隣店舗の営業管理
- B. 天候の予測
- C. 取扱作業の保安監督
- D. 試験問題の作成

答え・解説

正答：取扱作業の保安監督

正解は「取扱作業の保安監督」です。危険物保安監督者は、危険物の取扱作業を保安上監督します。

要点：保安管理を確認

Q199

標識・掲示 | 4択

【法令】 次のうち、危険物施設で火気を避ける理由として正しいものはどれか。

- A. 指定数量を増やすため
- B. 免状を不要にするため
- C. 液体を凍らせるため
- D. 可燃性蒸気への引火を防ぐため

答え・解説

正答：可燃性蒸気への引火を防ぐため

正解は「可燃性蒸気への引火を防ぐため」です。第4類は蒸気が火源で引火する危険があるため、火気管理が重要です。

要点：標識・掲示を確認

Q200

指定数量 | 4択

【法令】 次のうち、水溶性と非水溶性で指定数量が異なる代表区分として正しいものはどれか。

- A. 特殊引火物
- B. 第4石油類
- C. 動植物油類
- D. 第1石油類 非水溶性液体

答え・解説

正答：第1石油類 非水溶性液体

正解は「第1石油類 非水溶性液体」です。第1石油類は水溶性・非水溶性で指定数量が変わります。

要点：指定数量を確認